

TUST



(医療科学部棟)

2008 TUSTニューズレター 第20号

トピックス

- 新学科「生命環境学部 生命科学科」スタート・・・2P
- 新学科「医療科学部 作業療法学科」スタート・・・4P
- 新学部「こども学部」スタート・・・・・・・・・・5P
- 「財団法人 山階鳥類研究所」と連携大学院協定を締結・9P
- 大学評価(大学機関別認証評価)・・・・・・・・・・9P



学長
冲 永 莊 八

建学の精神

人と自然の調和をめざす21世紀の科学技術を身につけた人材養成の要望に応え、科学的創造力と地域で育まれる豊かな心によって社会に貢献する実践力のある人材を養成します。



学長補佐
田 畑 満 生

学長補佐の挨拶

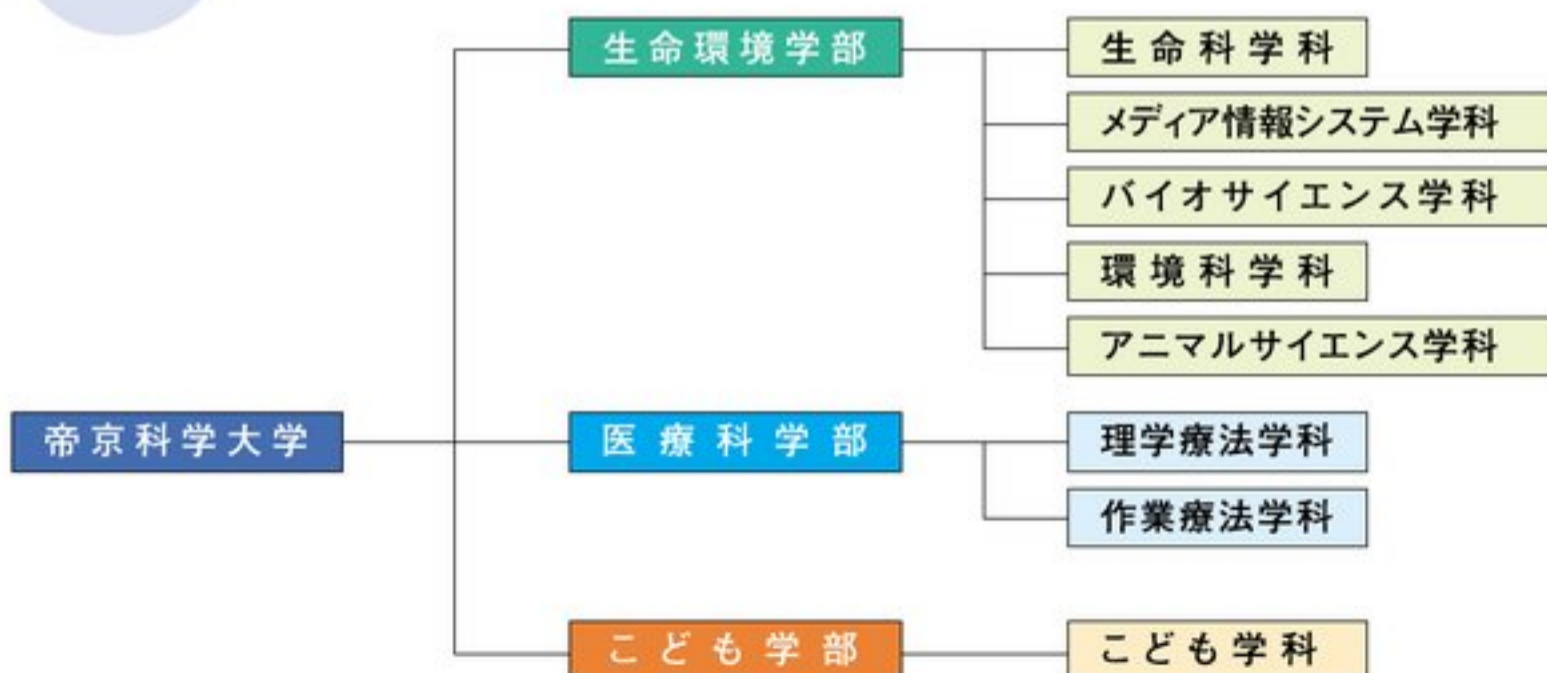
新入生の皆さん、帝京科学大学へのご入学おめでとうございます。多くの皆さんにとって、高校時代の大きな目的の一つは大学入学であったと思います。その目的を達成した今、安堵感と新しく始まった大学生活に期待と不安の入り混じった気持ちで毎日を過ごしていることと思います。

大学生活の出発点に立っている現在、皆さんに考えていただきたい大切なことがあります。それは、改めて自分の目的や目標を考えてみることです。日本の大学生4万人を対象にした最近の調査によると、大学卒業後のやりたいことが決まっていなかった学生が約6割近くいるとのこと。大学は社会

への中継地点です。その意味で、将来の職業を見すえた目的や目標を持つことが大切です。そうすれば、大学で何をどう学習する必要があるかも鮮明になり、学習意欲も格段に違ってくるはず。情熱を傾けられる目的や目標を考え、その実現に向けて大学の人的・知的資産を最大限活用し、選択肢の幅を広げ、自分の可能性を開花させる、充実した大学生活を送ってほしいと思います。

情熱を傾けられる目的や目標を考え、その実現に向けて大学の人的・知的資産を最大限活用し、選択肢の幅を広げ、自分の可能性を開花させる、充実した大学生活を送ってほしいと思います。

帝京科学大学教育研究組織





生命環境学部

生命科学科

生命科学科長 松岡 浩

平成20年4月、メディア情報システム学科とバイオサイエンス学科を母体として、生命、健康、臨床工学の3コースからなる「生命科学科」を開設いたしました。生命コースは、生命現象を探求し活用できるバイオテクノロジーの実践的スペシャリストを育てます。健康コースでは、健康そのものに取り組んだ教育・研究を進め、ヒトの健康の仕組みを理解できるようになります。新分野である森林セラピーもここでを行います。臨床工学コースは臨床工学技士を養成します。「生命科学科」では、この3コースの連携により、連動して変化する「こころ」と「からだ」の健康に取り組んでいきます。

実験の基礎を学ぶ様子
(生命コース)



森林セラピー
(健康コース)



メディア情報システム学科

メディア情報システム学科長 永沼 充

大学における情報システム教育は、本学に限らず難しい状況に置かれています。以前は最先端の研究対象であった情報処理技術があっという間に世に広まり、誰もが日常的に扱える汎用技術となってしまいました。大学では文系理系を問わず、どの分野にも必要な基礎分野の一つになったのです。

この流れに沿って本学科では、ニーズが高い臨床工学コースを除いて平成20年度から学生募集を停止し、新たな分野に教育研究のエネルギーを投入することとしました。もちろん、本学科が蓄積してきた情報の処理・管理・転送に関する技術はあらゆる領域の基盤として本学のために役立てていきます。開設3年目に入る臨床工学コースの学生はいよいよ実践的な学習に入ります。



病院にて「臨床実習中」の様子

バイオサイエンス学科

バイオサイエンス学科長 松岡 浩

バイオサイエンス学科では、昨年度から「健康バイオコース」と「植物バイオコース」の2コース制としました。それに伴う試みとして、学生に早くからバイオに対する興味を持ってもらうために、1年次に10人程度の少人数グループで3~4研究室を巡って専門の実験を行う「健康・植物バイオ導入実験」を始めました。学生にとっては早い時期から専門分野に直接触れる機会を作ることができ好評でしたし、カリキュラム上では2年次の「バイオサイエンス基幹実験」につながることで、従来に増してバイオサイエンスの一貫した教育ができるようになりました。



食品分野の実験も取り入れています
(チーズの作成実験の様子)

環境科学科

環境科学科長 栗林 清

環境科学科では「自然環境を迅速に把握する実験技術の修得と実践力を涵養する」を教育目標の一つとし、実験、実習の充実を目指してきました。今年度には「生物環境野外特別実習」を3年前期のカリキュラムとして整備しました。この実習は、選択授業で2年から3年生になる春休みの期間に5泊6日で小笠原諸島父島に行き、小笠原の自然、自然再生活動、エコツーリズムなどを実際に体験し、現地の講師の講義を受けることで自然環境を把握する実践力を養うものです。今回は約50名の学生が参加し、好評を博した授業の一つとなりました。



展望台からのクジラの生態調査



釣浜海岸でのビーチクリーニング

アニマルサイエンス学科

アニマルサイエンス学科長 石田 戡

アニマルサイエンス学科は、動物を理解することを通じた幅広い知見と豊かな人格形成を目標とし、動物を飼育する、野生動物を研究する、動物の福祉を考え看護する、動物を活用したセラピーを学ぶ、以上の4つを柱とした学習体制を整えています。

平成19年度にはオーストラリアの動物の取り扱いを学ぶため海外実習を行いました。また本年度からは馬場と厩舎を整備し、動物との接点を高める教育活動を加えています。

新たに始まった動物園の展示改善実習、飼育動物のエンリッチメント実習をはじめとした多様な実習は、応用力と実践力を養成するための実習で、好評の中に熱心な取り組みが続けられています。



生態学野外実習の様子



ドッグトレーニング実習



医療科学部

理学療法学科

理学療法学科長 高橋 高冶

「リハビリテーション学科理学療法学専攻」から「理学療法学科」へ

昨年度一期生を迎えたリハビリテーション学科理学療法学専攻は、今年度より理学療法学科に名称変更となりました。この一年では、すでに2つの実習が実施されました。8月にはリハビリテーション部門の病院見学を、また2月には帝京大学病院をはじめとする各病院で看護体験実習を行いました。実習後のセミナーでは、学生一人一人がこれからあるべき姿について真剣な討議が交わされました。

現在、医療系の大学・専門学校が急増し、各学校とも臨床実習施設の確保が問題となっています。本学では、臨床実習施設150余の協力があり、安定した臨床実習ができます。また、充実した設備とカリキュラム、臨床経験豊かな教育陣により、目的意識を持った理学療法士の育成が行われています。



車椅子操作の練習

作業療法学科

医療科学部長兼作業療法学科長 三上 真弘

今年度、医療科学部に作業療法学科がスタートしました。作業療法とは、私達が普段の生活で行う活動を分析し、それを用いて、健康の回復や維持を進める治療法で、リハビリテーションの一環としても知られています。事故や病気で身体や精神に障害をもつ方だけでなく、自閉症や学習障害などの子供からお年寄りまで、生活に困難を感じるあらゆる層の人々が「いきいきと生活すること」を援助する仕事です。本学では、幅広い臨床経験をもつ作業療法士や医師の教育陣の下で、豊富な選択科目、豊かな人間性を持つ作業療法士を育みます。



作業療法基礎技法学でのトンボ玉づくり



手指がどれくらい曲がるかを測る、関節可動域測定



こども学部

こども学科

こども学部長兼こども学科長 田畑 満生

カブトムシとの触れ合い活動



動物介在教育



ロボット介在保育



命の温もりや自然の美しさ・不思議さをたっぷりと体験し、豊かな感受性と旺盛な好奇心を持った子どもが多いほど、未来は明るいといえます。どの時代でもどの国でも、大人は子どもの健やかな成長を願い、勇気や元気をもらいながら、将来へと夢を託すことができます。

4月に開設されたこども学科は、このような視点を大切にしつつ、豊かなこども文化の創造に寄与できる教育・保育分野の指導者を養成します。

この教育理念を具体化するために本学科ではさらに、積極的に学外の子ども館や科学館、動物園で実習を行うとともに、学外課外活動（地域連携活動・子育て支援活動）によって、実践的なこども教育の体験が出来ます。

学内にはいつも活気溢れる学生の声が響き、近隣の幼稚園・保育園には本学科の学生が実習などで随時滞在、そんな顔の見える人間味あふれた教育を地域の皆さんと手を携えて行っていきたいと考えています。

開設に向けた準備も滞りなく終わり、新入生を迎え入れることができました。科学大学といえば理工系大学と思われがちですが、保育実習室、図工室、調理実習室、音楽室、ピアノレッスン室などを完備し、充実した教育環境を準備しました。また他学部他学科との共用設備も活用することで現代高度情報社会ならではの、科学技術にも明るい教員を養成します。

保育実習室



調理実習室



音楽室



学生の活動・サークル紹介



動物福祉イベント「ぼくらはみんな生きている。」の報告

環境科学科4年 高萩 愛

「動物福祉を日本に広めたい」そんな思いから始まったイベント「ぼくらはみんな生きている。」の開催も4回目となりました。これまでは不特定の一般の方に会場へ来ていただく形式でしたが、今回は「全国に仲間をつくりたい」と3泊4日の合宿形式になりました。北海道から沖縄まで全国各地から、動物に関心のある17人の学生が集まり、本学の学生スタッフも合わせて50人近くのメンバーがひとつとなって課題に取り組みました。

テーマは「めざせ！動物達のユートピア」野生動物、畜産動物、実験動物、展示動物、ペット問題、それぞれの動物福祉についてのプログラムが設けられ、動物も人も幸せな社会にしていくためにはどうすればいいかを皆で考えました。

参加者からは「充実した4日間だった」、「仲間ができた」、「希望が持てた」などの声を聞くことができました。



すべてのプログラムが終わり、みんなで写真撮影



KJ法によって
人と動物に
とっての理想の
社会像を考える

科大祭



2007年度「科大祭」～地域と大学を結ぶイベント～

アニマルサイエンス学科2年 船造 俊之

本学の「科大祭」は毎年11月に開催されます。昨年のテーマは「結（ゆい）」。地域と学生の結びつきに焦点を置き、幅広い年齢層の人々が楽しめる大学祭を企画しました。入学間もない私にとっては試行錯誤の毎日でしたが、多くの方々の協力の下、大成功を収めることが出来ました。

昨年度は多岐に渡って地域の方々に参加していただき、市内幼稚園、小・中学校、高校の発表などの企画が目立ちました。また毎年好評の「ミスコン」、男子学生たちが華麗な女装を披露する「カマコン」、さらに吹奏楽部、軽音楽部、ストリートダンス部、ドッグトレーナー研究部などが大いに会場を沸かせました。

後夜祭では、最後に花火が打ち上げられました。初の試みでしたが、最後を締めくくるに相応しいものとなりました。

今年度も昨年度に劣らない企画が用意できるように、着々と準備を進めています。科大祭に、ぜひともお越しください。



地域の方にも大勢来学していただきました



後夜祭のフィナーレを飾った花火



卒業生の近況

世界自然遺産候補地で働く

株式会社 小笠原ツーリスト 石井 亮
(アニマルサイエンス学科 2005年3月卒業)

私の職場は小笠原です。住所は東京都ですが、本土からは南に約1,000 kmにあり、交通手段は片道25時間半かかる週1便の船しかありません。海は青くイルカやクジラが1年中見られ、固有の生態系が多く残る自然豊かで温暖な亜熱帯の島で、主に観光産業で成り立っています。私は大学卒業後、この島にホエールウォッチングのガイドとして就職しました。その後、各種自然ガイドの資格を取得し、海だけでなく島内の自然・文化・歴史の案内や夜行性動物・星空などの観察ツアーガイドとしても働くようになりました。

現在はガイド業を続けると同時に、多くの人に小笠原に来島していただきたいと考え、島内の旅行会社に職場を移し勤務しています。一方で、小笠原の自然と動植物の保全のために、外来種駆除や植栽活動に参加したり、各種研究・調査に携わったり勉強会などに出席したりと活動の幅を広げています。自分が好きになった島の素晴らしさを伝え、そこから自然や環境に少しでも関心を持ってもらいたい。そのためには自分たちの手で、この自然も守っていかなくてはなりません。

今、小笠原は世界自然遺産登録へ向けて動き始めています。しかしそのためには、知名度の上昇に伴って増加する観光客の受け入れ態勢や安全対策、自然環境への影響など、まだまだ多くの課題をクリアしていかなければなりません。私はその現場に関わり続けられることに喜びと誇りを持って日々働いています。

学生時代の授業や活動などで得た経験も活かし、今後もこの島で活動していきたいです。私と小笠原との出逢いが大学の実習であったこともあり、ぜひ後輩たちにもこの貴重な環境から多くの物を得てもらいたいと考えています。島内の研修制度の紹介や体勢作り、今後の実習への協力もさせていただきたいと思います。



本学学生に、
アカガシラカラストバトの
サンクチュアリについて説明

父島のハートロック（千尋岩）
から南島を望む

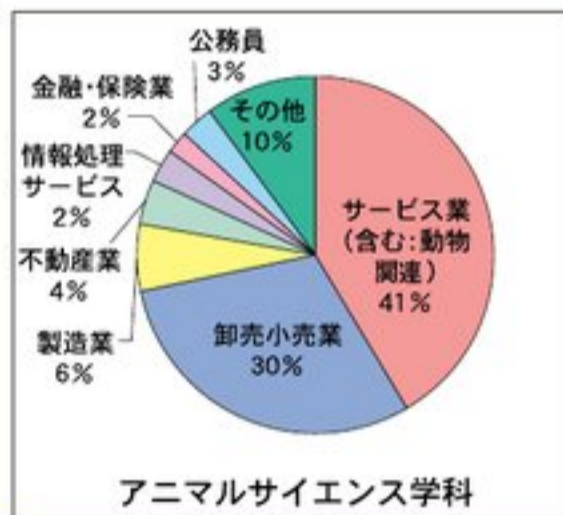
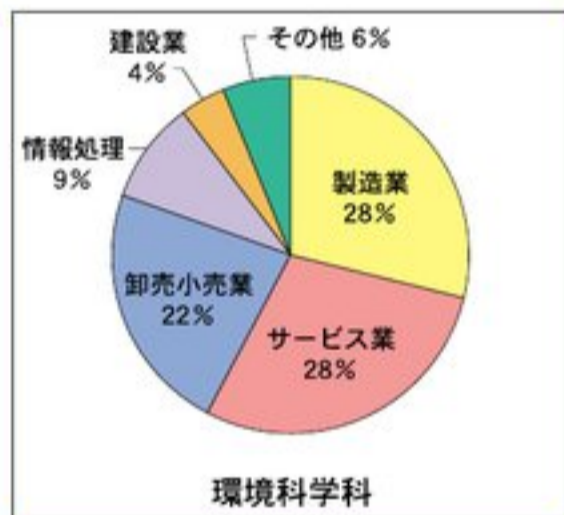
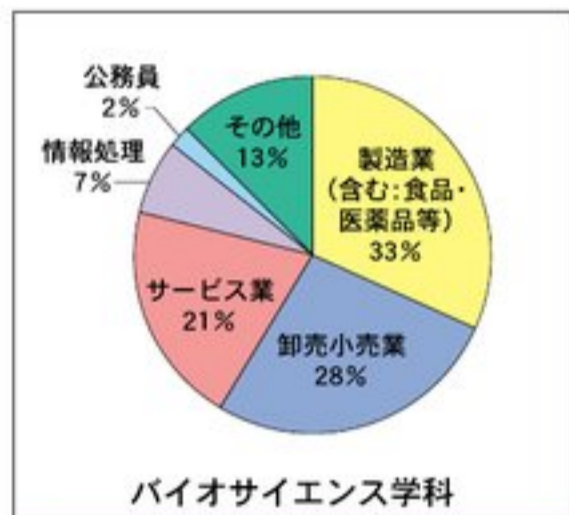
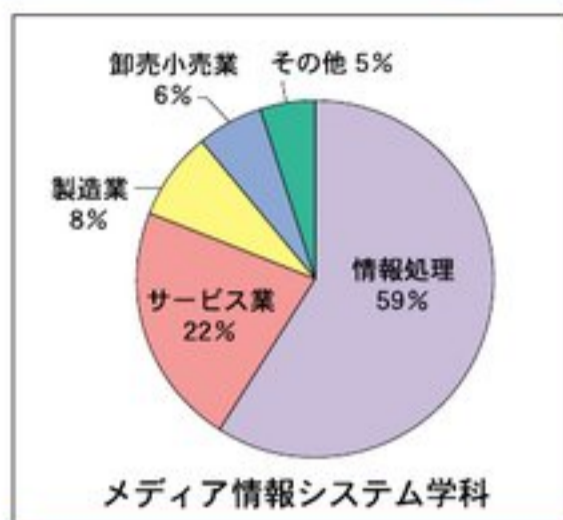


就職状況

就職事務室 就職アドバイザー 山口 邦彦

就職事務室では、3年次に開始する就職ガイダンス（年3回実施）、公務員試験対策講座、SPI試験対策、就職模擬試験、就職マナー講座、企業研究等の就職対策講座と、学内での企業合同説明会等の就職支援を行っています。また、エントリーシート、履歴書の書き方や、面接の際の留意点、グループ討論のポイントなどを個人別に丁寧に指導しています。

この結果、平成19年度卒業生の就職率も高い水準を維持することができました。就職先も学科ごとに特徴を持ちながら多様な業種に内定しています。就職事務室を是非ご活用ください。



卒業式

平成20年3月21日（金）に日本武道館で平成19年度帝京大学グループ卒業式が挙行され、本学からは580名が学舎を巣立ちました。みなさんの笑顔が輝く未来での活躍を期待しています。



入学式

平成20年4月4日（金）、好天に恵まれるなか、平成20年度帝京大学グループ入学式が日本武道館にて行われました。本学は460名の新入生を迎え、たくさんの保護者の方と共に、新たなスタートを華やかに迎えることが出来ました。



「財団法人 山階鳥類研究所」と連携大学院協定を締結

「財団法人 山階鳥類研究所（山階鳥研）」と本学において、連携大学院協定を締結しました。

山階鳥研は、ヤンバルクイナの発見やトキの野生復帰、アホウドリの小笠原移住プロジェクトなど、希少鳥類の保全をはじめとした鳥類学全般に関する調査・研究で重要な業績を挙げている日本で唯一の鳥類学の研究所です。

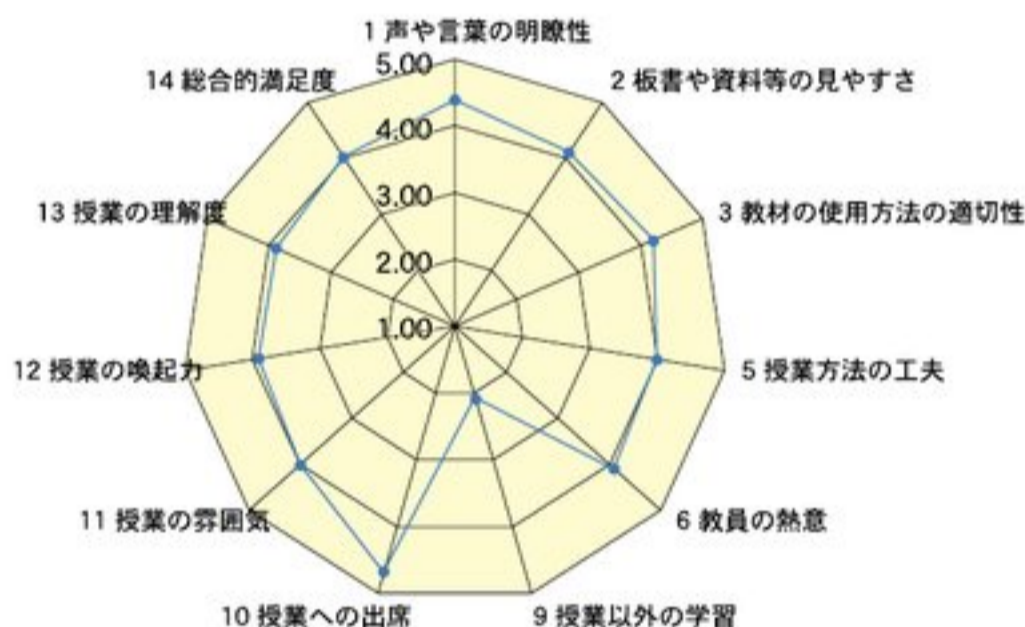
アホウドリの小笠原移住プロジェクトには本学の卒業生が係わっており、本学と山階鳥研が連携することで、更なる有意義な大学院教育ができるものと期待されます。

授業評価

授業評価アンケートの実施

授業改善専門委員会委員長・教授 山本 涼一

本学は年2回、授業改善を目的として学生による授業評価アンケートを実施しています。授業内容や方法に関するアンケートは全学全科目を対象として行われ、個票と科目別・学科別統計表が授業担当教員に戻されて、各教員の自己点検及び学科での評価を検討しています。また年1回、前期・後期の学科科目別に統計処理されたグラフと評価内容が、学生に公表・開示されています。



平成19年度データ

大学評価（大学機関別認証評価）

帝京科学大学は、財団法人日本高等教育評価機構による平成18年度大学機関別認証評価を受け、平成19年3月29日に認証評価の判定結果として、「帝京科学大学は、日本高等教育評価機構が定める大学評価基準を満たしている。」と認定されました。認定期間は、平成18年4月1日から平成25年3月31日までの7年間です。

帝京科学大学の評価結果は、「平成18年度大学機関別認証評価報告書」として財団法人日本高等教育評価機構のホームページ上にも公表されていますが、本学は、報告書の総評において、「総じて、建学の精神に裏打ちされた教育研究活動などでは多くの優れた点を指摘することができ、特に改善すべき点は見当たらなかった。今後は、より質の高い高等教育機関として発展・向上し続けることに期待したい。」と高く評価されています。

帝京科学大学では、今回の評価を真摯に受けとめ、今後もさらなる教育・研究・社会貢献に関する活動の充実、発展に取り組んでまいります。



新任教員の紹介



三上真弘

医療科学部長兼図書館長
作業療法学科長/教授
医学博士・医師

生命環境学部



下岡ゆき子

環境科学科/講師
博士(理学)



桜井富士朗

アニマルサイエンス学科/教授
博士(学術)・獣医師



峯崎友香理

アニマルサイエンス学科/助教



吉澤光一

理学療法学科/講師
理学療法士



奥 壽郎

理学療法学科/講師
理学療法士



千葉絵里子

理学療法学科/助教
理学療法士

医療科学部

医療科学部



椎名喜美子

作業療法学科/教授
医学博士・作業療法士



近藤知子

作業療法学科/教授
作業科学博士・作業療法士



船山朋子

作業療法学科/講師
作業療法士



長谷川辰男

作業療法学科/講師
作業療法士



大関健一郎

作業療法学科/講師
作業療法士



竹嶋理恵

作業療法学科/助教
作業療法士

こども学部



飯島 勤

こども学科/教授



神戸洋子

こども学科/教授



浅倉恵子

こども学科/教授



大沢 裕

こども学科/教授



鈴木智子

こども学科/講師

退任教員の紹介

引馬基彦

学長補佐・図書館長
バイオサイエンス学科/教授

田中敏之

環境科学科/教授

廣田順子

アニマルサイエンス学科/教授

2008
年度

帝京科学大学

公開講座

受講料無料

テーマ:「森林生態学」 時間/13時40分~16時50分

回	開催日	会場	演題	講師
1	9/18 (木)	本学 本館棟 404教室	森林生態学 講座	中静 透 先生 (東北大学大学院生命科学研究科 教授)

テーマ:「こども文化への誘い」 時間/13時30分~15時30分

回	開催日	会場	演題	講師
1	9/6 (土)	本学 大学院棟 4階 図工室	シェロの葉を用いた草玩具 の作製 バッタ・ころころ ポール・カエルなど	佐藤 邦昭 先生 (元玉川学園小学部 教諭)
2	9/13 (土)	本学 大学院棟 4階 図工室	麦ワラを用いた草玩具の作成 ホタルかご-1・ホタルかご-2・ 手かご・馬など	別府 敏夫 先生 (本学 こども学部 教授)
3	9/20 (土)	本学 大学院棟 4階 図工室	牛乳パックシアター を作ろう	神戸 洋子 先生 (本学 こども学部 教授)
4	9/27 (土)	本学 大学院棟 4階 保育実習室	幼児のためのわらべうた と絵本-ことばを手渡す 大切さ・楽しさ-	落合 美知子 先生 (おはなしと音楽の ちいさいおうち主宰)
5	10/4 (土)	本学 大学院棟 4階 図工室	こどもの絵・こどもの心 こどもの絵の鑑賞、こども の表現に学ぶ描画体験 (こどもの絵の持ち込み歓迎)	飯島 勤 先生 (本学 こども学部 教授)

..... お申込み・お問合せ

帝京科学大学 総務課 TEL: 0554-63-6911

編集後記

いま大学は改革期にあります。この4月から既存の生命環境学部には「生命科学科」が、医療科学部には「作業療法学科」が設置されました。さらに「こども学部こども学科」も新設され、3学部体制となりました。こうした組織改革に伴い多数の先生方をお迎えしました。

小林 記

発行人: 帝京科学大学 (TUST) 学長 冲永 莊 八
〒409-0193 山梨県上野原市八ツ沢2525
TEL: 0554-63-4411(代表) FAX: 0554-63-4430
帝京科学大学ホームページ URL: <http://www.ntu.ac.jp/>
E-mail: tustnews@ntu.ac.jp

※ご意見、ご要望をお寄せ下さい。



EMSシンボルマーク